

令和6年度  
飯塚市総合戦略推進会議結果報告

令和7年1月  
飯塚市行政経営部総合政策課

○報告概要

1. 開催日時 書面開催

2. 開催場所 ー

3. 会議参加者 別紙「飯塚市総合戦略推進会議名簿」のとおり

4. 協議事項

第3次飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

5. 書面表決結果

承認 13名 不承認 0名

6. 協議事項への意見

「令和6年度 飯塚市総合戦略推進会議 質問・意見及び回答」のとおり

## 飯塚市総合戦略推進会議委員 名簿

飯塚市総合戦略推進会議（書面決議開催時）

構成所属団体名等	役職等	氏 名	参加
九州工業大学	理事 副学長	安永 卓生	○
近畿大学	教授	飯島 高雄	○
飯塚市自治会連合会	事務局長	渡邊 秀人	○
小中学校PTA連合会	母親代表	松尾 知世	○
部落解放同盟飯塚市協議会	書記次長	原 和也	○
いづか男女共同参画 推進ネットワーク	副代表	稗田 佳子	○
飯塚医師会	会長	岩見 元照	○
嘉飯桂産業振興協議会	会長	荒木 尚友	○
飯塚商工会議所	専務理事	大石 一広	○
福岡県飯塚中小企業振興事 務所	所長	満保 賢二	○
飯塚信用金庫	副部長	大橋 明浩	○
連合福岡 遠賀川地域協議会	自治労飯塚市職員労働組合 書記長	井桁 洋晃	○
株式会社 NOTE	代表取締役	桑野 健太郎	○

（任期：2024（令和6）年10月4日～2026（令和8）年10月3日）

## 令和6年度 飯塚市総合戦略推進会議 質問・意見及び回答

### 1. 【資料1】P1～29 人口ビジョン編について

#### 【意見・質問】

飯塚市の人口は、今現在緩やかな減少傾向と推測されているが、社会情勢が予測不可能な状況下で、現実でなおかつ可能な計画立案を考え出さなければ当市の人口は増加しないのではないかと。これからの若い世代が地元で働ける雇用場所や出産育児の充実、安心できる生活の場所など、居住が確保され地域との繋がりが持てる安全で明るく楽しいまちづくりが急務と思う。

各世代のアンケートでは、交通の利便性や施設の充実、居住環境などの回答が多い。また、結婚は早めにした、時期は不明だが結婚したいが全体で61%と回答している。また子どもが欲しいと62%回答している。

住みたくない・どちらかといえば住みたくないを合わせると50%以上となる。少子高齢化で生まれてくる子どもより亡くなる高齢者の方が多いため自然減少による人口減少するのは目に見えている。これは当市だけではなく全国的な問題でもあり課題でもある。常に先を見据えた対応策で事業計画を考えて欲しい。

アンケートの結果でも分かるように、若者・中高年・高齢者のすべての住民が安心して安全な生活できる場所が求められていると思う。

地域に居住する市民にとって、他人事ではなく市民同士の連携を図り、官企民と共に互いに寄り添い、結束力を高め住みやすい町づくりの在り方が求められるのではないかと思う。地域ごとに地域の特性や特徴を生かした物づくりや企画及び地区住民に合った整備投資の必要性も大切と考えられる。

#### 【回答】

本戦略の推進にあたっては、ご指摘いただいたような視点を関係各課と共有してまいりたいと思います。

### 2. 【資料1】P25 目指すべき将来の方向 について

#### 【意見・質問】

意識調査や世帯変化(P5,13,14)をみると、単身者は増加方向だと感じますが、高齢単身者だけでなく、誰もが住みやすい街づくりについては言及されないのでしょうか。

#### 【回答】

「P.38 基本目標Ⅲ 健幸で魅力あふれるまちづくり 基本的な方針」において、言及しております。

### 3. 【資料1】P26 人口将来展望 について

#### 【意見・質問】

国立社会保障・人口問題研究所推計の推計よりも、本市独自の推計は楽観的ですが、その根拠は何でしょうか。

#### 【回答】

社人研については、2015(平成 27)年から 2020(令和 2)年の人口の動向を勘案し、将来の人口を推計しておりますが、本市の人口将来展望については、社人研の推計人口を基に、出生率及び純移動数を近年の傾向を踏まえた数値で設定し独自推計を算出しております。

本戦略に取り組むことで、人口減少克服を目指していることから、自然増減(出生等)や社会増減(移動)に関する仮定について、社人研の推計よりも改善した数値を用いて算出しております。(「P. 26 将来人口展望」、「P. 30 3 人口ビジョンの位置付け」参照)

### 4. 【資料1】P30 第1章 はじめに について

#### 【意見・質問】

「1. 策定の背景と目的」に「社会増に転じたものの、自然減の傾向は続いており」との記載があり、「2 計画の位置付けと対象期間」に「人口減少の克服のため移住定住の推進に特化した施策に絞り込み」とされています。

市長の年頭あいさつに「社会増減」においては増加したとの記述がありますが、ここは、「人口減少の克服のため移住定住に特化した施策」にではなく、少なくとも市長の挨拶を尊重するとして、移住定住に特化したものではなく、「人口減少の克服のため移住定住の推進を強く進めるとともに、自然増に向けた施策についても取り組みます。」にすべきと考えます。少子高齢社会といえ、飯塚市で生まれる子どもを現状から少しでも改善していくことは、行政の責務でもあると思います。移住定住と自然増の取り組みは、車の両輪として重要と考えます。

#### 【回答】

自然増となるためには、出生者数が死亡者数を上回る必要がありますが、本市では、高齢化による死亡者数の増加による影響が大きく自然減の増加傾向が続いております。自然増へ向けて、まずは自然減数を減らすための取組が必要と考えますので、出生数の増加に繋がる子育て支援の充実等については、「基本目標Ⅱ 未来を創るひとづくり」に基づいた施策等を実施してまいります。

(「P. 6 出生・死亡数、転入・転出数の推移」、「P. 35 基本目標Ⅱ 未来を創るひとづくり」参照)

### 5. 【資料1】P30～40 総合戦略編について

#### 【意見・質問】

基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについては承認しますが、各事業計画を担当する担当課は関連する担当課と連携を図り住民にしっかりと説明を行っていただきたいし、すべての事業計画とは言わないが可能な限り企画された事業計画が推進実施されることをお願いしたいと思います。

自治会加入率が低下している中で地域住民の誰しものが理解でき、納得をしていただけるようお願いしたいし少しでも自治会加入率が増えるように自治会も努力し行政や企業・他の団体と共に協力していきたいと思う。

何が起こるか分からない状況なので、不測の事態を想定した取り組みもお願いしたい。

#### 【回答】

事業実施にあたっては、ご指摘いただいたような視点で取り組むように、各担当課に意識づけしてまいりたいと思います。

6. 【事業一覧】P2 基本目標Ⅰ 地域を元気にするしごとづくり 2. 企業立地の促進および創業の支援

**【意見・質問】**

新規就農者事業については農地についての支援はどのようにされるのでしょうか。市内の休耕田や空き農地などの情報などは就農希望者自身が確保に向けて行動するというのでしょうか。それが一番困難なことではないかと思えます。

**【回答】**

個別の事業内容については、より効果的な事業となるように所管課へご意見を伝えます。

7. 【事業一覧】P6 基本目標Ⅲ 健幸で魅力あふれるまちづくり 2. 魅力あふれる地域づくりの推進

**【意見・質問】**

「空き店舗リノベーション事業費補助事業」がありますが、郊外大型店舗を誘致し、それまで以上に商店街の空き店舗が増えたのですが、それをどのように事業推進されるのか、疑問です。

**【回答】**

個別の事業内容については、より効果的な事業となるように所管課へご意見を伝えます。